

1. 件名：「島根原子力発電所 2 号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(137)」

2. 日時：令和 2 年 1 0 月 1 4 日（水） 1 3 時 3 0 分～ 1 5 時 5 0 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

中国電力株式会社：山田常務執行役員 他 7 名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について
- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号機 コメントリスト（地震・津波関係）

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	それではこれより島根原子力発電所火山影響評価についてのヒアリングを始めます。
0:00:11	ではよろしく願いいたします。
0:00:17	中国電力の伊マムラと申します。
0:00:19	それではこれから
0:00:21	島根原子力発電所の火山影響評価について御説明させていただきます。まずは資料の確認をお願いいたします。
0:00:29	最初の資料EP11。
0:00:32	ハイフン 01、はい。07 資料及び
0:00:38	PE011 を
0:00:41	はい、076 た資料はありますでしょうか。
0:00:47	はい、大丈夫です。ありがとうございます。
0:00:52	はい。
0:00:53	それでは、1 枚目の資料から御説明をさせていただきます。
0:00:58	本資料の 1 ページ目を御参照ください。
0:01:05	1 ページ目には、前回までの審査会合で指摘事項を整理したものを
0:01:09	紹介しております。これらのCP事項につきましては、治療の流れ例沿って御説明をいたします。まずは、
0:01:18	No.
0:01:19	4 の第 4 紀火山の抽出と火山の統合における文献取り扱う整理説明することについて説明をいたします。
0:01:27	本資料の 14 ページをご参照ください。
0:01:40	第 4 紀火山の抽出、地理的領域内
0:01:44	について文献調査の結果、
0:01:47	地理的領域括弧敷地を中心とする半径 160km以内にある第 4 紀火山は 23 火山を抽出しております。
0:01:56	第 4 紀火山の抽出にあたっては、意識ほか 2012 中野ほか編 2013 及び地質調査総合センターのウェブ版をデータベースとして合計三つの資料を用地用いて評価しております。
0:02:11	なお、近接する火山で一連の火山活動とみなされるものにつきましては、統合して評価しております。
0:02:18	この評価方法については 15 ページをご参照ください。
0:02:25	15 ページの第 4 紀火山の抽出したとしまして、統合した火山について御説明をいたします。

0:02:32	地理的領域敷地を中心とする半径 160km以内にある第 4 紀火山を抽出する上で、近接する火山で一連の火山活動とみなせるものにつきましては、事実上 5 実調査総合センター2020 行の文献に基づき統合して評価しております。
0:02:50	統合した火山につきましては、野呂鶴田を横田に統合。
0:02:55	実諸事実調査総合センター2020 によりますとの玄武岩鶴田玄武岩を含む 10 数個の単性火山ヨコタ単成火山群と仮称するとされております。
0:03:06	また古い文献日本地質学会編 2009 によりますと、時空分布及び活動様式等からの玄武岩越流た玄武岩は横田玄武岩の一つとされております。以上のことからずっと統合横タニ統合しております。
0:03:23	三瓶山に森田山につきましては、三瓶山に統合してありまして、実調査総合センター2020 によりますと、北方の森田山さんでカルデラ
0:03:33	形成以前の線カルデラ火山とされております。
0:03:37	松屋社に 2003 によりますと、森田山溶岩は時間的空間分布の上で 300 火山噴出物に密接に伴っていると見られ 300 火山の最初の活動として生じた可能性が考えられるとされていることから、三瓶山に統合しております。
0:03:54	次に、江坂要さんに統合。
0:03:58	こちらにつきましては、地質調査総合センター2020 によりますとかあんなで火山群は七つの単性火山から構成される火山岩とされた火山群とされ、そのほか観覧神戸さんの製法には約 22 万年前の足取り火山、
0:04:15	当方には約 13 万年前飲め佐賀火山もあるとされております。
0:04:19	栗山ほか 193 によりますと、江坂山の活動は $0.126 \pm 0.014\text{Ma}$ とされており、三瓶山単成火山群の活動年代に含まれておりまた岩種が同じであること及び両者の距離が近いことから当火山群として評価をいたしました。
0:04:39	説明は以上になります。次に、
0:04:44	42 ページをご参照ください。
0:04:53	ちゃわコメントNo.3 の敷地内調査における降下火砕物の確認状況について説明することというコメントを踏まえて治療するかをさせていただいております。
0:05:06	まず、43 ページをお願いいたします。
0:05:11	43 ページは、敷地における降下火砕物の分布に関する文献調査、地理的領域内を示しております。
0:05:18	町田新井 2011 によりますと、地理的領域内の火山のうち、敷地に到達した可能性のある降下火山灰の給源は三瓶山及び第 1000 とされております。
0:05:30	次の 44 ページをお願いいたします。

0:05:34	44 ページは地理的領域外といたしまして、町田新井 2011 によりますと、地域的領域外の火山のうち、敷地に到達した可能性のある降下火砕物の給源は喜界カルデラ、始良カルデラは阿多カルデラ、阿蘇カルデラ及び通常とさされております。
0:05:52	次に、45 ページをお願いいたします。
0:05:59	前回のコメントを踏まえ、敷地における降下火砕物の分布に関する事実調査の
0:06:05	説明提示を設けております。
0:06:07	敷地の地質は、新第三紀中新世の堆積岩類から成る上層自走とか乳癌類及びそれらを第 4 系の崖錐堆積物などから構成されており、敷地においては、下の図に示す通り、317 項もボーリング調査等の地質調査を実施した結果、
0:06:25	敷地では、降下火砕物
0:06:27	給源不明を含むものは確認されておられません。
0:06:32	コメントNo.3 についての説明は以上になります。
0:06:36	続きますよ。
0:06:38	90 ページよろしくをお願いいたします。
0:06:50	こちらコメントNo.1 及び 2。
0:06:53	に關しまして、
0:06:55	三瓶山に関するパラメータの妥当性確認としまして、シミュレーション結果と闘争あっせん図との整合性確認のために、図に 300 基のテフラの
0:07:05	購買層は勾配が報告されている地点について視点のプロットと実績層圧を表記したものを示しております。
0:07:13	この下の図の青
0:07:15	青字で書かれている文字が今回追加された項目で三瓶山から約 65km の範囲の購買層厚線は、
0:07:22	これは一部省略をしておりますが、
0:07:25	これらの文献もととなる。
0:07:27	各購買報告支援の勾配差圧根拠は、補足説明の
0:07:32	33 秒付近のテフラの勾配層厚に関する文献調査及び窒素地質調査を参照となっております。
0:07:40	次にこちらの補足資料の説明をさせていただきますので、補足資料の 52 ページを御確認ください。
0:07:57	補足資料の 52 ページから
0:08:01	括弧新しく 3 としまして 300 基のテフラの勾配層厚に関する文献調査及び地質調査を新たに資料化しております。

0:08:10	こちらは 300tの適用に関しましては、敷地及び敷地周辺において、実調査によってこのテフラは確認されておりません。そのため、2 番の敷地周辺の火山灰層厚に関する地質調査とは分けて報告させていただいております。
0:08:28	次に 53 ページをよろしく願います。
0:08:33	53 ページの 3 匹のテフラの勾配分布図を示しており、凡例で示される文献の降灰層厚の地点及び
0:08:43	購買層圧をプロットしております。
0:08:46	さらに、町田新井 2011 の等層圧線図周辺を拡大したものが左の図になります。
0:08:55	こちらには各地かつ購買層厚地点 1 から 01 から丸三 18 まで示されており、
0:09:03	10 ページ、54 に、
0:09:05	101 から 38 の勾配創発地点の地点名及び購買層圧及び参照した文献を示した表を整理しております。
0:09:19	54 ページの購買層厚の
0:09:22	米印で書かれたところを御参照していただきますと、購買層厚に関する具体的な規制記述がない場合は、地質柱状図などから読み取り長期債、また、
0:09:33	地点⑬及び⑰においては、
0:09:37	購買層圧が括弧書きとなっておりますが、
0:09:40	こちらについては、町田新井の 10cm闘争あっせん付近の勾配報告地点で
0:09:46	この両地点が敷地周辺の購買層圧に比較して設立して、
0:09:53	購買層圧が大きいことから、実調査を実施して三条確認することといたしております。
0:10:00	これらの文献調査の
0:10:02	結果を踏まえ、
0:10:04	こちらの比、右の図の表に示す。
0:10:07	地質調査について、
0:10:09	視点 1 から 6 について、実際に地質調査を実施して実施して実施いたしました。
0:10:16	視点 1 につきましては、
0:10:19	文献調査に該当する項目は存在せず、支店につきましては、文献調査地点の 5056 に対応、③の 3 地点 3 の広島県北部、庄原市鷹野町につきましては、文献調査地点 10⑪、⑫に対応。
0:10:36	視点 4 及び
0:10:38	ここは文献調査地点 13 条に対応しており、支店 6 につきましては、文献調査地点 1⑰に対応しております。

0:10:48	いや、地質以降には、これらの文献の詳細ページを載せておりますが、こちらでは詳細の説明は省かせていただきます。
0:10:59	実際に調査者実質結果をお示しますので、
0:11:05	79 ページをご参照ください。
0:11:19	79 ページからは、
0:11:21	当社実施した地質調査の報告をさせていただきます。
0:11:26	1.1 の難聴トップつかがにつきましては、三瓶山から
0:11:31	300 のテフラの分布指示高校約 15kmに位置する
0:11:35	しており、こちらの
0:11:39	黒丸で示したってんで、地質調査を実施し、300 のテフラを確認しております。
0:11:46	左の図に示される。
0:11:48	緑の線、35 から 80 と書いてあるところが調査地点になります。では次の 80 ページよろしく願いいたします。
0:11:56	こちらが、
0:11:58	本地点で確認した露頭上露頭の全景と露頭の三条になります。
0:12:03	上位から黒ボクハックロック中に移送の火山灰を平山降下火山灰募り降下火山灰を挟む。
0:12:11	300 基のテフラ層厚 35 から 80 年、さらに下位に粘土する火山灰層を確認しております。
0:12:18	3 分で昨日テフラにつきましては、褐色を呈しφ50 ミリ以下の軽石を含み、愛さ名程度の角閃石を確認されております。株ほど軽石の粒径が大きく、級化構造を呈しておりました。
0:12:31	よってこの指針におきましては、
0:12:33	難聴スガヤの 3 名雪のテフラの層圧は 35 から 80 と評価しております。
0:12:39	次の 8 ページをよろしく願いいたします。
0:12:43	地点 2 の
0:12:45	難聴
0:12:47	神木嶋につきましては、300 基のテフラの分布指示高校約 16.5kmに位置しており、この地点周辺において廃止ミウラ 1987 及び松井のH971 は、文献調査地点⑤及び⑥で 300 基のテフラの勾配を報告しております。
0:13:06	なお、
0:13:08	実際の露頭の具体的な地点不明ため地図長には、
0:13:12	文献露頭は-1 は示しておりません。
0:13:16	当該地域において地質調査を実施した結果、右下図の丸で示した地点において 300 のテフラを確認いたしました。

0:13:24	次のページが、
0:13:25	参照した廃止三浦分遣 198 ナビマツイの上の 1971 の文献になります。
0:13:31	この報告によれば、
0:13:33	林三浦 1987 で示される地質柱状図 8 の読み取り値によると、難聴上期までは旧赤から拝聴では 60cmと報告されており松井の上を示される地質柱状図 41 の読み取り値によると、25cmと報告されております。
0:13:51	ではこの地点周辺で実際に調査した結果が 83 ページになります。
0:13:59	本地点では、
0:14:01	上位から黒ボクさんでいきのテフラ、
0:14:04	層厚 115cm。
0:14:06	さらに下位に粘土する火山灰層を確認しました。
0:14:10	300tのテフラは、褐色を呈し ϕ 30mm以下の軽石含み ϕ 1mm程度の角閃石が確認されました。
0:14:19	こちらに示す廃止ミウラ 198 案に示された 8 の地点の柱状図と比較すると概ね同じような層準が堆積していることが確認でき、
0:14:30	治水廃止ミウラ 198 実柱状図を踏まえると、粘土する火山灰層にはATが含まれると考えております。
0:14:38	この地点においての 300 のテフラの層圧は 115cmと評価いたしました。
0:14:44	次のページの 84 ページをよろしくお願いいたします。
0:14:48	84 ページで 8.3 の広島県北部庄原市鷹野町において地質調査を実施いたしました。
0:14:56	本地点は 300 のテフラの分布軸方向約 26.5kmに位置しており、
0:15:02	周辺において林三浦 1987 及び松井の上 1971 が文献調査地点⑪及び⑫で 300 基のテフラの勾配を報告しております。こちらにつきましても、露頭の調査位置が、
0:15:16	わからなかったため、具体的な
0:15:19	位置は市場には明記しておりません。
0:15:22	当該地域において、地質調査を実施し、右下図の丸で示した地点において 300 のテフラを確認しました。
0:15:30	結果が、
0:15:31	すぐ次のページが文献の
0:15:35	次になります。
0:15:37	1.3 につきましては、林三浦 198 示される地質柱状図 10 の読み取り値によりますと、庄原市鷹野町では 170cm以上と報告されており松井の上、1971 の地質柱状図 46 人読み取り値によれば、

0:15:54	庄原市鷹野町では 125cmとされております。
0:15:58	また、参考といたしまして、
0:16:00	一応の地学の注射である高村 1985 は庄原市鷹野町の地質図及び
0:16:07	露頭増作成し、300 火山灰層の分布を報告しております。
0:16:13	中村 1985 に示される庄原市鷹野町諮問での露頭図によりますと、
0:16:18	最上位に 300 火山灰が分布すると明記されております。
0:16:24	次のページに、
0:16:25	露頭の調査結果を示しております。
0:16:31	露頭では上位から来る僕 3 名機器のテフラ層圧 100 から 160 センチ年度する火山灰層いけな降下軽石年度数個火山灰層、Ⅲでうん何テフラ流紋岩を確認いたしました、この地点でも廃止ミウラ 19872 より引用させていただいた。
0:16:49	次の地質柱状図を確認するとほぼ同層準が
0:16:53	が堆積してるのは確認できました。
0:16:57	300tの適用に関しましては歌手肯定したい時ミリ程度の管理職組 φ3 ミリ程度の角閃石が確認されております。
0:17:05	広島県北部庄原市坂野町の 300 のテフラの層圧は 100 から 160cmと評価しております。
0:17:13	次の 88 ページを
0:17:15	御確認ください。
0:17:18	地点 4 号広島県北東部統合山周辺の地質調査を実施しており、
0:17:26	本地点は 300 のテフラの分布主事高校約 56kmに位置する道具山周辺において、野村タナカ 1987 及び野村市菊地や文献調査地点⑬及び⑭で 300tのテフラの勾配を報告しております。
0:17:42	未実施で書いておりますが、こちらにつきましても野村タナカ 198 名同号山周辺及び野村市菊一堂山周辺発行岬たねこ山帯の瀬山島山が報告していることの具体的な値が不明のため、柱状には明記しておりませんが、
0:18:00	当該地域において広域的な地質調査右下図に主な地表地質踏査れると赤線で示しておりますが、実施いたしました。
0:18:08	本地点は、
0:18:10	町じゃ 2011 のほうで報告されている 50cm闘争あっせんにほぼ近い。
0:18:16	指針におきまして、
0:18:18	調査を行いました次のページに、
0:18:22	既往文献の整理をさせていただいております。
0:18:27	この文献によりますと、野村タナカ 1987 は広島県齋場ちょうど山山ろく地点Aにおきまして、中央付近に、

0:18:38	赤色の掃流のノミスその下位に風化も進んだガラス質火山灰があるとし、上位は優つう流通は 300 によっていらに対比されます会議のガラス質火山灰は ATであると報告しております。
0:18:52	また野村 1 村タナカ 198 名は上位そういうつうの層圧は 70cmと報告しており、
0:18:58	本層の上位にクロオカ社分が 40 から 50cmあると報告しております。
0:19:03	また新しいの文献のぐらい逐一によりますと広島県北部のどこ山周辺の緩斜面な山頂付近のちい見られる当番表段階で構成された地形や山ろくに形成された 6 節面の地質柱状図を作成しており、
0:19:19	調査域のほとんどで 300 の軽石が認められることを報告しており、地質柱状図の読み取り値によると、
0:19:26	300 の火山灰の層テフラの層厚は 15 から 30cmと報告されております。
0:19:33	次、実際に次のページに調査した結果を明示しております。
0:19:39	こちらは横山の
0:19:42	この山の南西に位置しており、上位から黒ボク 300 基のテフラ層厚 30cm角れきまじり粘土層IP55 から 20cmの隔離を確認いたしました。
0:19:55	3 ページのテフラ多かつ手法停止国際流下アシストするであり、φ2mm以下の軽石は 1mmの角閃石が確認されております。
0:20:04	300 のテフラの下位に認められる角れきまじり粘土層はどのぐらい逐一の地質柱状図を踏まえると、6 節面に相当する相当考えられます。
0:20:16	よって、広島県北東部統合山周辺①の
0:20:20	3 べきのテフラの層圧は 30cmと評価しております。
0:20:24	次に、
0:20:25	次のページをお願いします。
0:20:28	次にねこ山の製法にある地点 5 広島県北東部どう山周辺の地質調査結果を示します。
0:20:36	この地点では上位から黒ボク 300 基のテフラ発行層厚 30cm年度する火山灰層を確認しております 300 のテフラを褐色を呈し掃流サイズでφ1mm程度の軽石を含み、φ1mm以下の角閃石が確認されております。
0:20:52	この時点では、
0:20:53	どう山周辺にー 300 のテフラの層圧は 30cmと評価しております。
0:20:58	次のページに、
0:21:00	広島県北東部どう山周辺の調査結果をまとめております。
0:21:05	野村タナカ 198 らに示される広島県北東部どう山周辺の詳細な露頭地点

0:21:12	文献調査地点⑬議論 300 のテフラ 70cmの具体的な地点が不明なため、当該調査地域において、後期が調査を実施しました。
0:21:23	実施した結果どう山周辺①及び②において 300 のテフラを確認しどうテフラの層厚が 30cmであることを確認しました。
0:21:32	新しい文献の前逐一ではどう山周辺、
0:21:36	において地質柱状図の読み取り値で 300 のテフラの層厚は 15 から 30cmあく再堆積が除いておりますが 15 から 30cmと報告されており、地質調査で確認社さんべきのテフラの層圧と調和的であります。
0:21:51	状況を踏まえ村 198 名で報告されている 300 のテフラの層厚 70cmについては給源からの距離に対し、周辺の降灰層厚さと比較し一つずつして層厚が大きいいことから参考扱いとし、
0:22:05	当該地域における 300 のテフラの勾配層圧は実質調査によって確認斜層厚 30cmを採用して評価いたします。
0:22:14	この地点におきまして、広島県北東部の 300 ニュアンスは 30cmといたします。
0:22:20	じゃあ次のページをよろしくお願いいいたします。
0:22:25	1.6 岡山県報告整備北西部意味信号を地質調査結果を示します。
0:22:32	本地点は 300 円のテフラの分布軸方向約 63kmに位置しており、
0:22:39	廃止に井浦 1987 は、文献調査地点⑰で 300 のテフラの降灰 155cmを報告しております。こちらの地点についても具体的な地点が不明のため、地上には明記しておりません。
0:22:53	町田新井 2011 は左下図に示される 300 のテフラの等層圧線図を作成するにあたり、廃止ミウラ 1987 運用しておりますが、当該地域や町新井 2011 の等層圧線図ー50cm以下の範囲に位置しております。
0:23:09	廃止に井浦 198 らに示される耳信号の露頭の具体的な地点が不明なため、こちらにおきましても広域的な地質調査を実施し、赤線で地質踏査ルートを示しております。
0:23:24	実質、
0:23:25	地表地質踏査の結果、丸で示した地点三瓶山からの距離約 63kgにおいて、
0:23:31	300 のテフラを確認しました。
0:23:35	次のページに、本地点で確認されている企業文献の資料まとめております。
0:23:42	廃止ミウラ 198 案示される地質柱状図 14 の読み取り値によりますと、岡山県北西部、
0:23:49	新美市信号の町では 155cmと評価されております。
0:23:56	次のページをご参照次のページのほうをください。

0:23:59	はい。
0:24:00	こちらが現地の現調地質踏査の結果となりまして、
0:24:06	3 匹のテフラが確認された人に信号の露頭状況を左の上の図に示しております。
0:24:14	廃止ミウラ 1987 で 304 という勾配が報告されている人信号では 900 から 1000 メーター器の山の山間部に位置処理水の側が南東方向に向かって流れております。当該地域は林業などの作業動が多くあり林道沿いはほぼ全面露頭となっております。
0:24:33	この林道沿いの全面露頭には普遍的に風化花崗岩一部確率が確認されていましたが、300 基のテフラは、
0:24:40	P1P2 のみで確認され、当該地域のどう火山灰の分布は局所的であることを確認しました。
0:24:48	次に 1 及び t2 の
0:24:51	露頭状況を御説明させていただきます。
0:24:55	まず PT1 の露頭全景の拡大写真 123 がそれぞれ示されておりますが、
0:25:04	97 ページ上位から、
0:25:08	97 ページに示される通り、上位から腐食どう火山灰出動
0:25:14	3 弁機能テフラ層厚 20cm という花崗岩を確認いたしました。
0:25:19	300 のテフラは多かつ手交停止中流さサイズで $\phi 1\text{mm}$ 程度の軽石含み $\phi 1\text{m}$ m 以下の角閃石が確認されました。
0:25:28	B1 の次のページに PT の近傍で確認された P2 地点の露頭状況を御説明いたします。
0:25:37	P におきましては、上位から腐食どう火山灰数度括弧シルトする火山灰須藤津名左折 300 のテフラ層厚 30cm エンドする火山灰層を確認しております。
0:25:50	こちらにつきましても 300 のテフラ降下を褐色を呈し中流者サイズで $\phi 1\text{mm}$ 程度の管理職組。
0:25:56	1mm 以下の角閃石が認められました。
0:26:00	具体的な露頭地点は、Voice ではありませんが、廃止ミウラ 198 台より引用し、地質柱状図と確認しますと、
0:26:08	300 機能テフラ、
0:26:09	もう
0:26:11	始めらによれば、300 件のテフラの所上位と下位には隔離が分布しておりますが、こちらの時点では、確率が分布は確認できておりませんが、火山灰指導及び援助する火山灰層に挟まれて分布しております。
0:26:25	次に 99 ページをお願いいたします。

0:26:30	1.6 のまとめといたしまして、廃止ミウラ 1987 に示される岡山県北西部の詳細な露頭地点が不明なため、当該地域周辺において後期な地質調査を実施いたしました。
0:26:43	地質調査の結果、林道沿いに位置及びP2 において、三陸のテフラを確認しとうテフラの層厚が 30cmあることを確認いたしました。
0:26:54	町新井 2011 は 300 の手G闘争圧線図を作成するにあたり、廃止ミウラ 1987 運用しておりますが、当該地域は、町田新井 2011 の等層圧線図-50cm以下の範囲に位置しております。
0:27:08	上記を踏まえ、廃止ミウラ 1987 で報告されている 300 のテフラの層圧 155cm については給源からの距離に対し、周辺の勾配厚さで比較して、一つ思想圧が大きいことから参考扱いとし、当該地域における 300 のテフラの勾配層圧は地質調査によって確認した層厚 30cmを採用して評価
0:27:27	1 することといたしました。
0:27:30	よって、岡山県北西部の 300 のテフラの層圧は 30cmと評価いたします。
0:27:37	100 ページ以降には参考といたしまして、
0:27:41	アプリ支給七、八が 5 万分の 1 図服紙紙は未地域の地質を作成しており、
0:27:47	第四期火山灰が岡山県北西部の複数地点に分布しとう火山灰が 303 瓶山以来の可能性があると報告しております。
0:27:57	本報報告では、
0:28:00	岡山県北西部耳信号付近において、
0:28:05	段丘堆積物らしい。
0:28:07	そう剰余火山灰が負うと報告されており、
0:28:13	これは本地域の火山灰層が 300 の火山のものかもしれないと報告されており、
0:28:19	実際、岡山、こちらで地質調査を行った結果、300 のテフラ層は 30cmを確認いたしましたため、服部 1978 が報告者火山灰層は皿べきの手際である可能性が高いと考えております。また、地方地質踏査の結果、岡山県北西部、
0:28:37	新美信号付近層厚 30cm。
0:28:40	及び鳥取県南西部日南町宮内付近層圧約 1000 地上付近の火山段丘堆積層、
0:28:48	確認いたしましたが、
0:28:49	地方地質踏査の結果、火山灰層は認められなかったと認められませんでした。
0:28:56	これらの個々については事故以降に示されております。
0:29:02	100、101 ページには、

0:29:04	岡山県北西部の
0:29:06	水野町付近で確認された段丘利益確認いたしましたが、こちらは表層崩壊。
0:29:13	の
0:29:15	表層滑りの滑落外において段丘礫層を確認いたしましたが、その上位層に火山灰層は認められませんでした。
0:29:23	またたつぷり地球七、八が報告している、いる層圧 100cm以上の火山灰層地点としまして、鳥取県整備の日日南町宮内付近におきましても、
0:29:34	操作をした結果、ナイトウ付近の道路沿いは斜面がきつい吹きつけられており、付近のちょうど付近法面露頭を確認いたしましたが、火山灰層は認められませんでした。
0:29:46	以上が、現地踏査結果になります。
0:29:52	次に、
0:29:56	諸分子量の
0:29:58	104 ページを
0:30:00	参照ください。
0:30:10	すみません 103 ページです。申し訳ありません。
0:30:15	三瓶山の敷地周辺の総厚を踏まえた検討といたしましては、
0:30:21	敷地敷地方向への仮想封を考慮した火山灰シミュレーションによる検討に加え、さらなる保守的な検討といたしまして、町新井 2011 による 50cm闘争あつせん増式敷地周辺で確認された実績層厚として考慮し、
0:30:35	三瓶山からの距離に応じた層圧を算定する。
0:30:39	標記処理、これらの式をもとに、敷地における購買層圧は 505055.5cmと評価しており、
0:30:47	次の 104 ページで、
0:30:49	これらの
0:30:50	算定式の妥当性を評価いたしました。
0:30:55	敷地における購買層圧の算定式の妥当性を確認するためには、
0:31:00	さっきの補足資料で紹介いたしました文献及び地質調査による購買報告遅延との関係を確認し、
0:31:07	また三瓶式を反比例と仮定する。
0:31:10	妥当性について、
0:31:11	赴任するとします。こちらについては前回説明済みのため諸説明を省かせていただきます。
0:31:20	本ページの左下に示す算定式と。
0:31:24	購買層圧試験のプロットした関係が以下になります。

0:31:29	敷地における購買層圧の算定式は闘争圧線図の主軸方向につきまして、購買層圧が給源からの距離に反比例すると仮定した層圧 50、50cm地点三瓶山から 61 キロコントロールポイントとして設定しております。
0:31:47	左下の図を確認いたしますと、三瓶山からの距離が 40km以上の場合、各購買報告地点の層圧は当該算定式に比べて小さく、三瓶山から敷地までの距離に相当する位置では保守的な層厚層圧評価となっています。
0:32:03	以上のことから、当該算定式を用いることは妥当であると判断しております。この整備にあたって当たりましては、左下の図の算定式を超えている 40 キロ。
0:32:14	オオバの地点で算定式を超えているポイントとしましては、野村、
0:32:19	タナカ 1987 号報告している。
0:32:22	約 52km地点の
0:32:24	70 センチと報告されていた地点につきましては、
0:32:28	地質調査の結果 30cmと報告させていただき、
0:32:32	これによりまして三瓶式を超えない数字になっており、
0:32:37	6、
0:32:38	敷地変わる。
0:32:39	給源から 63cmの
0:32:41	耐震井浦 1987 の信号地点につきましても地表地質踏査の結果、155cmを参考扱いとし、算術地質調査の結果 30cmと者所算定式を、
0:32:56	上回らない結果となっております、算定式の妥当性を確認いたしました。
0:33:03	。
0:33:07	以上のことから、
0:33:09	次に 106 ページをお願いいたします。
0:33:12	。
0:33:14	三瓶山の降下火砕物の影響評価のまとめとしまして、
0:33:18	降下火砕物の層圧評価及び文献調査結果、地質調査結果と火山灰シミュレーション結果三瓶山の敷地周辺の層圧を踏まえた検討結果の四つから、
0:33:30	評価を行っておりますが、文献調査結果、地質調査結果で、敷地周辺、
0:33:36	における地方地質踏査結果敷地は 300 行き過ぎテフラの等層圧線で 10cm 程度の範囲に位置しており、三瓶山期限のその他の火山灰層が確認されていないこと。
0:33:48	及び
0:33:50	三瓶山の敷地周辺の層圧を踏まえた検討結果といたしましては、
0:33:55	3、三瓶山、敷地は三瓶山の風下側に位置し、風向きによっては降灰が想定されておりますが、

0:34:02	丸山Tall2020によると300のテフラの分布域は明確に方向に区分され、その一方、SE受けUpperが中国地方の広範囲で分布している以上ことから、敷地方向への仮想不を考慮した火山灰使命シオンによる検討に加え、かなり保守的な
0:34:18	検討としまして、先ほど説明いたしました町田新井 2011 による 50cm闘争あっせん増資基礎周辺で確認された実績層厚と、
0:34:27	指定考慮し、三瓶山間の距離に応じた層圧を算定した結果、敷地における購買層圧は 55.5cmとなりました。
0:34:37	結論は変わっておりませんので、
0:34:39	以上になります。
0:34:41	次に、
0:34:43	補足－108 ページをご参照ください。
0:34:58	補足－100 パッチ 108 ページの
0:35:01	噴出量 4.15。
0:35:03	立方キロメートルの妥当性確認といたしまして、300 機能つてぐら噴出時の噴火規模は丸山Tall2020によると、SE受けUpperとSE敬老はは別々の噴火イベントとされていることから、sf系アッパーに
0:35:19	企画し、厚く堆積するとされ、支配的と考えられるsf系ろうあの分布域に着目して、噴出量を算出しましたいたしました。
0:35:29	町田新井 20202011 に示された闘争あっせん図をもとに、最新の文献及び地質地質調査における購買厚さを包絡するように保管した闘争あっせん増作成し、
0:35:42	しました。
0:35:43	なお、三瓶山から約 160km以遠に位置する兵庫県南部、
0:35:48	統合県西武及び円周 7 につきましては給源からの距離に対し、周辺の勾配厚さと比較して、一つずつ思想圧が大きく逆転が生じていることから、参考扱いとしております。
0:36:01	以上の結果を踏まえ、300 円大手G層噴出量は約 4.6km立米となりました。
0:36:12	文献及び地表地質踏査による降灰厚さを参考に逃走あっせん等を勘案した闘争圧線図により算出噴出薄いよう約 4.6 立米は第 4 紀火山カタログ編集委員会支給 9 に示されるオダ火砕流雪の効果、
0:36:31	軽石の噴出量 4km立米と同程度であります。以上のことから 300 のてグラフに数字の噴火規模、4.15kmより上は影山 0.159 立米。
0:36:43	オダ火砕流雪の降下軽石 4kmは想定する噴出量として妥当と考えております。

0:36:51	次に、
0:36:52	この噴出量のアイソパックの
0:36:56	面積、体積が妥当かの確認を行いました。
0:36:59	300 のテフラの噴出規模を算出するため、多忙を用いて各月加久藤層圧線図の面積を三通り算出しており、
0:37:07	その面積の妥当性を確認するため、三者法により、酸素を行い、
0:37:12	妥当性を確認した面積を利用し体積を算出しました。
0:37:17	以降は 3 社法の
0:37:19	副に行い、
0:37:21	113 ページで、
0:37:23	概ねCADで算出した面積の
0:37:26	94 から 96%面積を再現できており、タダで参集者飯が妥当であることを確認しました。
0:37:34	以上の結果を踏まえて、
0:37:37	多分参集者面積を要し堆積を下の通り、
0:37:41	算出しております。
0:37:46	以上の結果をもちまして、体積は合計 4.09 立米となり、概ね通知は妥当であるということを確認いたしました。
0:37:57	次に、
0:37:59	コメントNo.5 に対応しまして、160 ページをご参照ください。
0:38:19	本編の 160 ページをご参照ください。
0:38:27	こちらでは、新たに喜界カルデラ、始良カルデラについて地下構造の検討資料を追加し
0:38:34	近いカルデラ噴火ステージに関する記載の適正化を図りました。
0:38:40	161 ページから御所ご説明いたします。
0:38:45	敷地地理的領域外半径 160km以遠に位置する機会始良、阿多阿蘇のカルデラにつきましては、敷地が過去の 800 的噴火に伴う降下火砕物の分布範囲に含まれることから、
0:38:58	降下火砕物の影響評価対象として中岡 1988 及び町田新井 2011 を参考に、運用期間中に破局的噴火の発生する可能性について可能性について検討した上で、降下火砕物の影響。
0:39:12	評価を行いました。
0:39:14	中岡によれば、1 から 5 噴火ステージの段階の数字があることを示しております。

0:39:21	162 及び 163 に関して機械彼らの噴火規模の想定を噴火履歴の検討及び近く
0:39:29	構造の検討で噴火ステージを確認いたしました。
0:39:34	喜界カルデラは破局的噴火の最短間隔は約 5 万年は最新の破局的噴火からの経過時間、
0:39:41	a. 7 万年に比べ十分に大きいことから、破局的噴火までの時間的余裕が十分にあると考えております。
0:39:49	喜界カルデラにおける現在の噴火活動は薩摩硫黄島における後カルデラ噴火ステージにあると考えられております。
0:39:59	163 ページをお願いいたします。
0:40:06	163 ページには、GPS観測と、
0:40:10	地下のマグマだまりのモデルを示しており、
0:40:13	井口ほか 2000 によりますと幼児淵野選べ島屋久島竹島に設置されたGPS観測の結果から、顕著な膨張わけっす検出されておらず、少なくとも最近数年間には深部からの新たなマグマの供給がないと判断できるとしており、
0:40:29	篠原ほか 2008 によると、包有物に関する検討から地下 3kmにマグマだまりの上限を推定し、現在の火山ガスの降水量から 80km立米以上のマグマだまりが推定されるとし、火山ガスの起源のほとんど
0:40:45	地下深くに潜在している玄武岩マグマとしております。
0:40:48	以上の結果から、
0:40:51	喜界カルデラ直下に大規模なマグマだまりが推定されているもののマグマだまりのほとんどが玄武岩質マグマであるとされているため、このマグマだまりは破局的噴火を発生されるものではないと考えられます。
0:41:04	よって、気体カルデラ発電所運用期間中に破局的噴火が発生する可能性は極めて低いため、火山灰による敷地への影響はないものと考えられます。
0:41:15	説明は以上になります。
0:41:22	中国電力の清水です。若干ちょっと補足させていただければと思います。補足資料のですね先ほど我々の調査結果を御説明させた資料のですね。
0:41:38	ギャップすいません 90 位 3 ページ御確認ください。
0:41:46	これ 2 の信号地点というところでトウソウ圧廃止三浦先生が 150cm程度というふうに評価したところです。この資料を提出した後にですね、三浦先生のアポが取れましてですね実は昨日、
0:42:02	それ排水性配線性能アポをとりまして昨日先生に直接お会いしてですね、ちょっと資料化できておりませんがお話させていただきました。先生のですねと

	まず調査地点をお聞きしたいということで、一応確認しましたところ、95 ページ見ていただければと思いますけども、
0:42:23	95 ページのですねこの赤い線引っ張っている中の上北のほうのですねこうVの字になっているのですか。
0:42:33	Vの字Vの字というか右が大なりたいなっているところ三角形のところですね、この凍ら点のところです、コーナーのところから右下にずっと上がっている我々が調査した辺りのところで、先生は御確認されたというふうに聞いております。
0:42:48	ということで聞きました。
0:42:51	布田先生ですね当時は地点を詳細に落とした絵を持っていらっっしゃたらしいんですけども、5 年前に体感されてですねもうその時に研究室に置いたままにしててなかなかそのチームがもう今見当たらないということでそれ以上の詳細なところについては不明と。
0:43:07	ということで聞いております。ただ、我々のこの資料すべてをお示してですね見ていただいたところ、この先ほど言った、我々が調査している範囲の辺りの露頭だということは確認しております。露頭の状況なんですけれども 1.5mを者斜面で確認しております先生は、
0:43:28	この辺りいろいろと調査しているんですけども厚いところとか薄いところとかはやっぱりその地盤の時期、当社斜面とかそういう影響によって大分変わってくるので、なかなかその厚さについて、特に 50cmのコンターを引くようなものはずね、なかなか先生としては非常に引きにくい引きながら、
0:43:48	いけるようなもんじゃないというふうに先生はおっしゃってございました。
0:43:52	後ですね当社の評価についてもですねこれ見ていただいたんですけども我々が見たところをもっと地点 1 から 6 全部見ていただきましたけども先生がおっしゃられてるとこと概ね大体同じような評価だということで当社の評価に対しての御意見というのは特になかったというところでございます。ちょっと異常補足させていただきました。以上です。
0:44:16	はい、御説明ありがとうございます。
0:44:27	今、御説明いただいた内容としましては、
0:44:31	指摘事項の
0:44:33	規制庁クマガエですけども指摘事項の
0:44:36	ものとしては、一番 2 番三番。
0:44:41	4 番 5 番について御説明いただいたというところでよろしいでしょうか。
0:44:53	コメントNo.6 につきましては、
0:44:56	中国電力の今村です。
0:45:00	コメントNo.6 の統計的に説明することに関しましては、

0:45:05	今回のNo.1 から 5 の説明するナンバー1 から 4 を説明する中で、統計的に説明。
0:45:12	させていただいたところということで、コメントは
0:45:19	割愛させていただいておりましたが内包されているという認識で説明させていただいております。
0:45:26	以上です。
0:45:30	はい、規制庁クマガエです。ご説明ありがとうございました。
0:45:35	どう。
0:45:37	それでは、
0:45:39	私のほうからちょっと確認させていただきたいんですけども。
0:45:43	一番最初に御説明いただいた
0:45:47	文献のですね、取り扱いのところ、
0:45:51	15 ページのところ、
0:45:53	第 4 紀火山の抽出について、
0:45:56	御説明いただきましたけれども、
0:45:59	これらについては、基本的にその地質調査総合センター、
0:46:04	のところで統合したというふうに記載されてるといような御説明だったんでしょうかそれとも
0:46:10	地質調査総合センターでは分かれてるんだけど、ほかの文献で、
0:46:16	統合しているということに基づいて評価されたということなのか、ちょっとそこら辺が、
0:46:22	ちょっとはっきりわからなかったのもう一度御説明お願いいたします。
0:46:48	中国電力の今村です。
0:46:52	第 4 紀火山の
0:46:54	抽出の基本的考え方につきましては、第 4 紀火山の抽出にあたっては、既存のデータ場合ベースを活用することとし、
0:47:02	認識ほか 2012 中野ほか 2013 及び地質調査総合センター、
0:47:08	延べ分をデータベースとしてよ用いており、
0:47:13	地質調査総合センター延べ物販では、
0:47:26	版では、火山の概要を補足事項の欄に、ほかの火山と一連の火山活動とみなせる場合は、その旨が記載されており、すいません、資料の 15 ページになります。
0:47:40	が記載されております。
0:47:43	地質調査総合センター延べ分は最新の知見踏まえ都度更新されていることから、これらの更新内容

0:47:50	以下を踏まえた検討を実施して資料作成しております。
0:47:56	以上です。
0:48:01	規制庁クマガエです。
0:48:03	はい。
0:48:04	今御説明いただいたところですけども。
0:48:07	妻の野田鶴田については、地質調査総合センターで
0:48:13	オダ玄武岩等が続けばそれで全部まとめて横田単成火山群ということでまとめて評価されてるという、
0:48:22	ふうにされてますのでこれは調査総合センターで、
0:48:25	一つの火山として採用されてるってということなんですか。
0:48:48	はい中国電力の田中です。基本的にはですね、実重複障総合センターのほうを統合していない形ですね、長期されてるかと思うんですが、実際には個別のですね火山の中にですね
0:49:04	データシートの中にですね、火山の概要を補足事項という欄がございます、そちらのほうにいろいろほかの火山との関係っていうのが記載をされております。その記載されている内容っていうのがですね。
0:49:19	当資料の 15 ページになるんですけども、
0:49:26	15 ページのほうに記載されてまして、例えば鶴田の例でいきますと、理由のところの 1 ポツ目に書いているような内容があると。
0:49:36	同じく森田山本三瓶山もそうなんですけれども、これはデータベースのほうでは別々に森田山三瓶山という形で整理をなされておりますが、先ほど申し上げました火山の概要補足事項の欄にはですね。
0:49:53	それぞれの関係というのが記載されておまして、こちらにあります通り北方のモニターもわか 300 カルデラ形成異例の目線カルデラ火山とされているといったことございまして三瓶山と森田山につきましては、
0:50:09	一連の火山というふうに皆することができると地調のほうでは記載としてデータベースとしては別々では分かれておりますけども、一連の火山活動というふうに補足事項を読みますとですね、見なされることできないかというふうに
0:50:26	弊社は解釈して整理をしておりますメダカにつきましても同様でございます。
0:50:32	以上です。
0:50:39	規制庁クマガエです。
0:50:41	また地質調査総合センターの
0:50:45	によると、それぞれは統合した形では、整理されてなくてそれぞれ独立した形で記載はされているんですけども、

0:50:55	その内容を細かく記載を確認をしていくと、御社としては、
0:51:02	統合してもいいんじゃないかというふうに考えられたということでしょうか。
0:51:09	爾見区の目先かなんかにつきましては、これは、
0:51:13	款鍋火山群が七つの単性火山から構成される火山群というんですが、この
0:51:19	単成火山が行うその単成火山というのは、つまりかなべさんとか、メダカとかが、
0:51:26	入ってるというようなことでよろしいですか。そうではないんですか。
0:51:32	はい、中国電力の田中です。具体的な例がございましたので、それについて回答させていただきますが、まず目坂につきましては、この 15 ページに記載しております考え方だんごの七つの単性火山の中には入っていないと。
0:51:47	というのが事実でございますが、
0:51:51	メダカにつきましても、こちらの
0:51:54	25 ページに書いている通りですね、
0:51:59	豆策につきましてもカーナビ山のデータシートの中でも言及をされているという状況でございます。
0:52:06	ではその目先の関する記述を見てもわかります通りへとかつかかなり天野ほかの火山群と比べまして、活動年代であったり、岩種あと位置的關係、こういったものからも共通性が非常に高いということございまして、
0:52:24	一連の火山活動とみなすことができるというふうに判断をしているというところでございます。以上です。
0:52:37	規制庁クマガエです。
0:52:38	今の御説明を聞きますと、地質調査総合センターの調べでは、この昔のいろんな文献をもとに整理をしているんなデータをまとめでは、まとめた結果、
0:52:52	それぞれの山については独立して、それぞれ統合せずに調査されてると。
0:52:58	いうことでまとめられているというふうにお聞きしましたけれども、そういった中で、
0:53:05	御社としては地質調査総合センターとまた
0:53:09	の整理と違う形で統合されているというふうに
0:53:13	聞こえましたけれども、
0:53:15	そこら辺の説明についてはどういうふうに整理をされてるのかというのを、
0:53:19	きちんとまとめていただきたいと思います。
0:53:31	はい中国電力の田中です。主旨理解しました。その辺も記載させていただこうと思います。
0:53:39	既設のナイトウですけれども、趣旨理解
0:53:43	わかりましたっていう理解できてますか。

0:53:46	皆さんの空気火山をどう抽出するかという考え方の基本にあるのは、
0:53:55	産総研のデータベースについては、最新の知見を全部網羅した上で判断しているの、それに基づいて設定をしますと言っていないので、産総研のほうで、
0:54:11	統合しているものについては無条件で統合するとしているわけですよね。ところが産総研では別々だと言っている、この三つのものについては、産総研が当然見ているであろう。
0:54:28	文献を使って統合すると言っている。
0:54:35	このところで、なんで産総研が統合当然見ている文献によって別々だとしている山を何に基づいて皆さんは別だとするのかっていうのをきちっと説明してください。
0:54:50	というのが会合の指摘なんだけれど、
0:54:54	この説明を聞くと、今回説明聞くと、相変わらず産総研は別だと言ってるんだけれども、産総研というのが発表しているにも古い文献に基づいて統合しますとしか言っていない。
0:55:11	そこは何でそういうことができるんですかって何に基づいて産総研は別々だと、最新の知見として言っているものをさらに古い文献を用いて統合できるんだとしている根拠は何なのかというのをきちっと説明してくださいっていうことを
0:55:27	最後で言ったけど、それに対して会合のませコメントする前の話でまた繰り返してって説明がきちっとできてないんだけど、そこはきちっと説明してくださいということなんだけど、よろしいですか。
0:56:07	中国電力の鹿島です。今の趣旨を改めて整理いたしまま特に先ほどナイトウさんおっしゃられたように、産総研については、道路についてもモリタさんにつきましても個別名で挙げてますけど我々としては、内容を踏まえて、
0:56:22	これは統合して評価できるという判断のもとに整理をしておりますけれども、名参加についてはそこを同じような内容ですね、同様の説明がちょっと今難しいところもありますので、改めて整理をいたしましてですね、その他この整合とれるような解釈ができるというような整理をさせていただきたいと思いますので、改めて整理のほう
0:56:42	いたします。以上です。
0:56:52	規制庁ナイトウですけども、刀禰メダカは当然説明モニターもう道路も産総研は別だと言ってるわけですね、結論として、
0:57:03	それを何に基づいてイシューだというんですかと、産総研の結論は別なんですね、それは事実としてそれでよろしいですか。
0:57:23	中国電力の鹿島です。すいません。森田さんのローンにつきましても個別個人名は別ではあるんですが我々としては先ほど田中が申しましたように、

0:57:35	記載の内容を踏まえて、これらの一連の例えば持った感じでありますと、サンビューカルデラ形成以前の線カルデラ火山ということで、これは一連の流れの中で一つの火山として統合してもいいというのではないかというふうに解釈をした上で整理をしている次第です。
0:57:52	以上です。
0:58:06	規制庁ナイトウですけども、だから、産総研は別だということでもいいんですよ産総研の別のヤマダとしてるといいんですよ。
0:58:15	そこをまず事実確認
0:58:19	はい、中国電力課長です。おっしゃる通り、データベースとしては、個別の火山として整理されています。以上です。
0:58:27	聞いてないですけども、だから産総研を結論として別のヤマダとしているのを、
0:58:34	その検討過程においてこういうことを考慮しましたと言っているものを引っ張ってきて、なんで統合できるとしているのかわからない。
0:58:43	逆に言うと統合するというふうにしたものをささげたものはそのままスルーそのまま採用していますと、ただ他の文献を見れば当然統合じゃないといって別のヤマダって言うものもあるんだけど産総研が言っているのもそのまま統合しますとしていると。
0:58:59	そこの底皆さんはどういう判断基準で何をやってるのかよくわからないのでそこを論理的にどういうルールでやるのかってのはきちんと説明していただけませんか。
0:59:25	中国電力の田中です。先ほど箇所のほうが申しあげました通り、これ確かにそのデータベースとしては個別に分かれてはおるんですけども、その内容っていうか中身の無いそれぞれのデータベースの中のデータシートの中身等も踏まえましてですね。
0:59:46	統合したという作業をやっているという状況であるんです。
0:59:53	結論として、
0:59:58	そういう状況でございまして、といった低とまた再度検討させていただきましてですね抗体個回答したいと思います。以上です。
1:00:11	はい、既設のナイトウですけども、皆さんが言ってるように、の説明は、
1:00:18	別統合できるっていうふうになってないよね。
1:00:23	と思ってます。
1:00:24	産総研恐れを考慮した上で別だと言っているんだけど、産総研が考慮していても別だとしているものを引っ張ってきて統合できますと言っているという状況なので、ではだったらそれは何で統合できるのかと御社なりの
1:00:40	ちゃんとした判断をしていかなきゃいけないんだけど。

1:00:43	そこをきちんとできてるんだったらきちんと説明していただきたいし、逆に言うと産総研が統合したものについては他の文献でいるいわゆるてるものもあるんだけどその検討、それを比較して検討していない中で産総研が統合できるといった統合すると。
1:01:00	いうことを
1:01:02	皆さんは採用してるわけだから、その部分の差別化はどうやってきているのかがよくわからない。
1:01:09	だから、恣意的にやっているように見えてしまうのでそうじゃないんだったらそう、そうじゃないということをちゃんと説明して欲しいんですけど。
1:01:19	はい、中国電力の鹿志村です。こみ了解しまして今回統合したかについており有望一部書かせていただいておりますが、逆に新しい知見に基づいて分離したのもございますので、それも含めてですね、どういう考え方で、
1:01:35	整理をしたかというところを改めて資料のほうですね、作成した上で御説明させていただきますと思います。以上です。
1:01:56	規制庁クマガエです。
1:01:57	はい。ちょっと私の方からまた違う点について確認させてください。
1:02:06	今回
1:02:07	三瓶山のコンターのところについてですね、いろいろと
1:02:12	総厚について確認をしていただいて、表にまとめて、
1:02:18	記載をしてもらってますけども、
1:02:21	SUMCOの
1:02:22	104 ページのところコンターの算定式のところの
1:02:28	のところにそれぞれ
1:02:30	そう圧を記載されてますけれども、
1:02:33	結果としてこの結論としては、
1:02:39	でもその算定式とその層圧の関係のところについてどういうふうに、どのような考え方で
1:02:47	この 50、55.5cmっていうのはですね、妥当であるというような考え方で、
1:02:52	示されているのかというのはその考え方について御説明いただけますでしょうか。
1:03:08	中国電力の今村です。
1:03:11	算定式の妥当性に関しましては、
1:03:14	我々が
1:03:16	実績層圧で最重視している点が敷地距離の 55km付近
1:03:22	2、

1:03:23	の実績層圧を最重視しております、50cm闘争あっせん付近の
1:03:29	実績層圧を
1:03:32	比較しますと 40km、
1:03:34	給源の 40 キロ。
1:03:36	以上の方向に関しましては、
1:03:38	この算定式を超えるような実績層圧はAに 2 地点を除いて、
1:03:44	算定式の中、
1:03:46	になっていることを確認しております。
1:03:50	すごい
1:03:51	敷地の 40 キロ以内の指定に関しましては非常に
1:03:56	降下軽石の層厚のばらつきが大きく、
1:04:00	一部超えているものもありますが、そちらに関しては、
1:04:05	敷地の
1:04:06	地球敷地より近いところでの
1:04:10	層厚であるため、敷地に及ぼす影響としては考えづらいという点で、
1:04:14	敷地 40 キロ。
1:04:16	以上の方向で
1:04:18	報告されている購買層圧を
1:04:21	賛否式との関係を
1:04:23	考えた上で、
1:04:25	妥当性を評価しております。以上です。
1:04:31	規制庁クマガエです。
1:04:35	三瓶山×40km以上の場合の
1:04:39	層圧について評価をされている。
1:04:42	いるというのは記載されていて、それが保守的な
1:04:46	育ち評価となっているというふうには記載されてるんですけども、40km以内の ところについては、
1:04:55	この評価の中では、
1:04:57	の
1:04:59	そう。
1:05:00	妥当性としてというか妥当性じゃなくてそっか、発電所に対して、
1:05:06	あまり影響が
1:05:07	少ないで発電所へのさを定年の算定においてはあまり影響が少ないというふ うに
1:05:14	考えてらっしゃるということで、そこはあんまり

1:05:18	重視されないということで整理されてるということでよろしいでしょうか。
1:05:26	中国電力の今村です。その認識。
1:05:30	で、
1:05:32	その認識で考えております。
1:05:40	もしそれをそのような形で考え、ちょっと今私のほうが言いましたけども、正確には事業者さんの方でどういうふうに考えてるのかっていうのをちゃんと
1:05:49	書いて説明していただいてそれを診療所にきちんと書いていただければと思いますのでそこら辺についてはどういう考え方で、
1:05:58	確認をしていっているのかということも整理をしていただければと。
1:06:03	思いますし、あと、
1:06:05	40km以上ってというのは40kmから
1:06:10	何kmとかそこら辺の範囲は決まって考えられていらっしゃるのでしょうか。
1:06:15	何km以内とかそういったところです。
1:06:24	中国電力の清水です。40kmというのとはですねデータ見ていただけましたらとわかる通りですねそこに当たり、データがあまりないということで40kmを一応仮の位置として置いております重要なのはですね敷地に影響する距離ということで、
1:06:40	サイトまでの距離55kmというところがございますので、その前後は一番重要だというふうに考えておりますので、最初の言われましたコメントそれを事業者としてのコメントを書いてくださいということに関しましてはですね。
1:06:56	二つ目の右下の二つ目のポツのところに書いていまして、投資三瓶山からの距離が40km以上の場合はこう配送してんのとあとは当該算定式に比べて小さく三瓶山から敷地までの距離に相当する恭一これがいわゆる55キロということですけども、そこが重要で、
1:07:16	そこについては、保守的な評価となっておりますというふうに期待しておりますのでこれは敷地との距離に相当するところということで記載をさせていただいております。以上です。
1:07:32	規制庁クマガエです。
1:07:35	そこが40km以上のところが重要なんだとは確認をし、そこで確認をしたいんだということであればですね、そこについても、
1:07:44	記載を確認できてどういうふうな
1:07:48	ことをやってるのかというのを記載をしていただければということでございます。
1:08:28	規制庁クマガエです。104ページの記載については、
1:08:33	今お話いただいて内容を確認しましたので、ありがとうございます。

1:08:50	規制庁タニです。
1:08:53	ちょっと私のほうから確認したいのが今回の現地調査に行かれてるっていうことで、
1:08:59	その結果が補足の 54 ページからあるんですけども、
1:09:04	まず最初に
1:09:07	分遣これだけ調べましたと、そのあとに地質調査実際現地に行きましたっていうこと書かれてるんですけど、これはこの中からどういう場所を抽出して、現地調査を行っているのかその現地調査いかれるこの抽出の考え方を
1:09:24	あれば教えていただきたいんですけど。
1:09:31	中国電力の今村です。
1:09:33	現地踏査を行った地点の選定としましては、
1:09:37	基本的な考えといたしましては、
1:09:40	町田新井 2011 で報告されている等層圧線図ー50cm付近
1:09:46	に存在する報告されている報告地点で
1:09:50	算定式を上回るような
1:09:52	購買層圧が報告されている地点を抽出して、
1:09:56	現地踏査を行っております。またね合わせとしまして地点 1 から 3 に関しましては、3 で請負ってGー30を確認するという意味を含めまして見合わせという意味も含めて整理。
1:10:10	9 原油から近い地点で
1:10:13	文献で報告されている地点付近で、
1:10:16	調査を実施した次第であります。以上です。
1:10:21	規制庁の谷です。関係部起こりましたそれなんかどっか書いてますかね、もし超えてなければ、その辺の考え方もとして言っていたら。
1:10:31	なんでここでやってるのかなっていうのがわかりやすいかなと思いますけど。
1:10:37	中国電力の今村です。承知いたしました。
1:10:42	おはよう調査に関しての考え方の治療をね、追記して追加したいと思います。はい。
1:10:48	今説明していただいたことでいいと思いますので、あと邪魔現地行きましたよっていうところで、現地の
1:10:57	説明をずっといただいているんですけど、結局、
1:11:03	現地行ったから、そう圧は、より薄いのが確認されましたといったことを確認した後に、文献で書いてあるのは参考扱いとしていますというこの参考という位置付けが何かいまいわからないんですけど。

1:11:20	この参考っていう意味は、フィッティングぐらいをの妥当性を見る上で参考として言うことを言っているのか、その層厚自体を何ていうんですかね。
1:11:35	何ていいですかね、あやしいものだと思ってるのかと参考っていう意味はどういう参考なんですか。
1:11:48	中国電力の今村です。
1:11:51	参考としている箇所につきましては、
1:11:56	町田原 2011 で報告されている等々ある線図に基づいて作成した。
1:12:04	算定式に
1:12:06	各地点給源からの距離
1:12:10	の育つ落とししたポイントを照らし合わせて極端に大きな
1:12:15	A地点を抽出しまして、付近、格段に大きな
1:12:20	露頭層圧が示されている露頭付近で、
1:12:24	複数の実柱状図は作成されて、その付近の層圧が一応ニュース薄い場合、
1:12:31	薄かったり、
1:12:32	とかそういった箇所に関しては、極端に厚いことから再局所的にたまったものという解釈のもと、
1:12:40	に三坑、
1:12:42	にしている参考の表記にとどめ
1:12:48	の考えで参考扱いにしております。以上です。
1:12:58	要するにですね見つけられなかったからっていう話なのかっていうのが何かよくわからなくて、実はそういう熱いのあるんだけど見つけられなかったもし見つかってたら参考じゃなかったのかとかですね。
1:13:14	ちょっとその辺は気になって、その参考という位置付けですね。
1:13:21	どうして参考でいいのかなっていうのが、
1:13:25	要するに 30cmのところを見つけましと近くに 150cmのところがあるかもしれませんが。でも 30 センチのところが見つかったから参考ですっていうのは、そのロジックがちょっといまわかりにくくて、
1:13:39	その辺の差っていうのをどう扱うのかっていうのを、
1:13:44	何かはっきりしていただきたいなっていうのを思います。
1:13:49	あとですね、現地現地行きました例えばの話をする、この 102 ページだとかっていうのは、現地に行きましたと現地行ったけれども、ちょうど脇は
1:14:03	法面はもう吹付があつたり、露頭がありませんでしたっていうような話をされてるんですけど、これって最初聞きたいのがどれぐらいの範囲を見て、
1:14:16	その露頭は本当に露頭自体がないのか、いろいろとあるんだけど、たくさん見たんだけどないっていう話なのか、その辺ちょっと事実確認させてください。

1:14:32	中国電力の今村です。
1:14:34	102 補足の 102 ページの
1:14:37	線に関しましては、
1:14:39	ちょうど
1:14:41	ちょうど
1:14:42	②の地点のちょうどが二つに分かれるところの周辺まで
1:14:48	は、
1:14:49	踏査をして確認をしてしましたがさらに上の方向に関しては、
1:14:55	実際はまだ調査できておりません。
1:14:59	また服部。
1:15:01	によれば、
1:15:03	山の頂のほうで、
1:15:06	火山灰が報告されているしばしば見られるという報告記載もされておりますが、そういった地点は、現時点で今回の現地調査の中では確認できていないのが事実であります。以上です。
1:15:21	はいありがとうございます来規制庁タニです。えっとですね、私もこれ、何か実をグーグルとかで、
1:15:29	この地点の周りをざっと見てみたんですけれども、これってなんか 183 号店いわばこの南でバイパス工事がされていたり、或いはこのちょっと北側費川沿いの何でした。
1:15:43	この川沿いの北側ではですね何か大きな採石場があったりなんか意外と露頭自体はあるんじゃないのかなというのを印象を受けて、そういったところをどう、どうして確認されなかったのかなっていうことで、
1:15:59	確認しているんですね。加えてこの 100 ページっていう
1:16:04	もうここ 100 ページを見てみるとこれ最初から参考っていうふうになっているんですけれども、何かこの周辺はある程度厚みを持って何かありそうな記載が、
1:16:15	昨日てくれればですね、ありそうな記載になっているっていうのを考えると、何かもう少し広い範囲で確認した上で、本当はないのか、或いは雨水のがあるのかっていうのを見ていただく必要があるんじゃないのかなと思ったんですけど最初からこれが何で参考なのかなっていう
1:16:32	点も含めて、何かあれば 1 説明ください。
1:16:40	中国電力の今村です。
1:16:43	参考とした理由としましては、
1:16:47	具体的に

1:16:48	300 のテーマについて、既往文献を集めていた段階では 300 によってぐらい 300 火山灰のうち 300 域のテフラと言及されている文献について、
1:16:59	中心的に調査を実施しております、その中で、
1:17:03	廃止裏 1987 で報告される信号地点が 1155cm ということで、その周辺を
1:17:09	見なきゃいけないという段階で
1:17:13	調査を行っていた段階なんですけどその中で、紙は道費地域のづくを参照しますと、この図。
1:17:21	づくでは 3 匹のテフラとは言及せずにですね、300。
1:17:26	第四期火山灰としてが分布するという表現にとどまっておりますその中で由来が三瓶山のものかもしれないというような記載がされておりましたので、
1:17:38	そういった意味合いでは
1:17:40	現地踏査の確認としては 300 のテフラと言及されている地点を優先的に調査し、
1:17:46	させていただいたというのが実情で、
1:17:48	でございます。
1:17:50	以上です。
1:17:55	規制庁タニです。その辺のお考えがあるのであれば、それがわかるようにしていただきたいんですけども、ただですね、こういった文献で 100cm ぐらいのものがあって、言ったけれども、
1:18:10	何もなくてっていう話で、いやこれはちょっとした 300 基布じゃないかもしれないですよ。それいけだったりな効果の可能性もあるんですけど、じゃあ何なんだろうっていうのはちょっと疑問としては残るっていうのをありまして、
1:18:26	何かそれでも周辺に何か露頭があるんだったら、
1:18:30	確認いただけたらなっていうふうに思っています。で、もっと細かいこと言うと、
1:18:36	100 ページで、
1:18:39	えっとですね、100 ページのこの黄色囲みのところで、高齡日日南町ですかね、宮内付近
1:18:48	ここががん段丘堆積層を確認したがって書いてますけど、これってあれですよ。どっちかっていうところの 101 ページの
1:19:00	市に新美市の方ではあったけれども、
1:19:05	102 ページのほうではあった。
1:19:08	特に書いてないんですけど、これ正確に変えたほうがいいのかなと思います。
1:19:13	いかがでしょうか。
1:19:16	中国電力の今村です。
1:19:19	102 ページに関しては、ご指摘の通り記載内容が不十分でありまして、川沿い

1:19:27	2 はアンチづくりでは段丘たい。
1:19:31	耐堆積物が分布すると報告されておりますが、実際に現地で確認した結果はそういった層は吹きつけ等、
1:19:39	いや職制で追われているなどで確認できておりませんので、そこら辺の記載の適正化を図りたいと思います。以上です。
1:19:48	はい規制庁谷です。誤解を与えないようにしていただきたいというところなのでよろしくお願いします。あとですね、ちょっとこれも細かい話なんですけど、69 ページ。
1:19:59	ですね、これって
1:20:03	ならっ奈良県の所方町阪手っていうところのテフラの話、この文献には 12 センチメートルっていう層圧が書かれているんだけど、御社のほうで、これは厚みはわからないから
1:20:20	厚みは書かずにっていう整理をされているんですけども、
1:20:28	考えですね、逆級化構造を示している可能性があるから、
1:20:35	静穏
1:20:37	に堆積したものと考えるににくいから、
1:20:41	この 12 センチっていう
1:20:43	評価できませんよっていう考えてこれって一般的なその逆逆級化をしてたら、火山灰としては、
1:20:53	70 そう純層としては認めないっていうような一般的な考えか何かあるんですか。
1:21:08	はい。
1:21:09	中国電力の田中です。補足説明資料の 29 ページをお願いしたいと思います。
1:21:26	はい、29 ページのほうに純層もしくは再堆積というふうな判断の基準といえますか。それではものを整理させていただいておりますけども、絵と真ん中の箱書きの右側ですね再堆積の特徴というところに整理させていただいてますが、
1:21:43	いわゆる堆積構造、いわゆるラミナのようなものだったり、あと逆級化構造。
1:21:49	みたいなものがあつた場合につきましては、一度堆積した火山灰がへ水によりに循環されたと考えられる。
1:21:56	というふうに判断をしております、その他例えば
1:22:00	堆積物に不純物が入っているとか、
1:22:03	そういったものも判断基準としても整理をさせていただいております。
1:22:08	この基準に基づいてどうかという判断をしております、今回の
1:22:15	阪手ですな盆地の差でにつきましても、

1:22:20	同様な逆級化構造を示してる可能性もあるという判断のもとで、ここに浮きのテフラ自体は農村材については否定はしないんですけども、総厚としてはそのまま 12cm と評価できるものではないというふうに事業者として判断したものでございます。以上です。
1:22:39	規制庁タニです。私はちゃんとこの辺の 29 ページを
1:22:44	十分把握してなかったところもあるんですけど、これでも 69 ページ行って、
1:22:50	これ吉川が言ってることって皿層に分けられるって言ってる。
1:22:58	だけで、
1:23:00	これが逆級化構造っていう話になるんですか。
1:23:07	ちょっと純粹にそれを疑問に思ったんで確認させてください。
1:23:12	はい、中国電力の田中です。まず高温層厚ここで言う、言うしかほかでは層厚は 12cm というふうになされておまして、
1:23:22	この 12cm が丸々恵山べき阪手火山灰阪手テフラに相当するものだという前提条件に基づいたときに、
1:23:32	まず大きく三つに分かれるということございまして、
1:23:39	粒径等の記載がございましてけれどもこれを読み取ってみますと、
1:23:44	逆級化構造という
1:23:46	もう一つお示してる可能性もあるんじゃないかと事業者の方でも判断したというものでございます。
1:23:54	以上です。
1:23:57	やはり規制庁タニです。判断がここに
1:24:01	入ってて、しかもそれは示している可能性があるっていうぐらいの程度だということですね、それと
1:24:13	それと、今の 29 ページでしたって、それとあわせて、
1:24:20	これは、
1:24:21	2 僕みたいなものじゃないのかっていうふうに考えられているっていう説明
1:24:27	ですね、取り返しましたけど、それでいいですね。
1:24:32	はい中国電力の田中です。その通りでございます。
1:24:36	はい、事実確認はできました。
1:25:36	規制庁のカイダで私もちょっと別の観点で確認を、ちょっとこれ少し脱線するような話になるかもしれないんですが、
1:25:50	補足説明資料の
1:25:52	80 ページの
1:25:54	調査結果のところをお願いします。
1:26:01	ここで 300 基布が厚いのが確認されましたという。

1:26:07	ことで
1:26:09	そのすぐ上に割と同じぐらいの厚い堆積物で、
1:26:14	次の1っていうのがあるんですけどもこれ
1:26:18	どっかのページで見ると、
1:26:20	かなり全然噴出規模からして、
1:26:24	0.2立方キロメートルとかすごいっちゃうのが、ここでそれなりに同じぐらいの
1:26:32	同じじゃないんですけど近い。
1:26:35	当厚さでたまってるということで、
1:26:39	この場所自体が何か。
1:26:42	まずそのすごいっていうのが何でもこのこの辺りそんなに
1:26:48	分厚いっていうのが、
1:26:50	もうしか出そうなのかっていうことと、
1:26:53	そうであれば露頭の付近というのは、
1:26:57	どういう状況なのかっていうのを分かれば教えていただきたいんですけども、
1:27:02	というのは、ちゃんとそうそう圧が
1:27:05	何かよそから集まってくるような地形になってるとか何か。
1:27:10	そういうもんじゃなくてちゃんと見れるような場所だっていう
1:27:13	ことであるかっていう、まあそういったところもあるんですけども、
1:27:17	わかればで構いません。
1:27:24	中国電力の今村です。
1:27:27	すごい降下火山灰と。
1:27:31	言われているか役職の火山灰に関してなんですが、
1:27:36	うちの
1:27:37	下まで削ってみると、下位会のほうですと、ちょっと
1:27:43	よりそ流な
1:27:46	左右するさ砂分がラミナ構造を呈するような構造、
1:27:51	提出しております、そういった構造は会議の300のテフラでは確認されないんですが。大久保。
1:27:58	三つ目の黒僕より上位の火山灰層ではそういった堆積構造が確認されて、なお、
1:28:05	水平0堆積してるような環境でしたので、
1:28:09	現地で確認した結果では、
1:28:11	固定水の中で、

1:28:16	強みで堆積したような環境で、より
1:28:19	斜角されずに、結構厚くたまったのかなって印象。
1:28:26	ただ、
1:28:26	で、
1:28:28	で評価しております。以上です。
1:28:32	はい、わかりましたじゃ
1:28:37	噴出規模が大きいからそれに比例してものの火山灰がどこでも熱くなるっていうよりは
1:28:47	この厚さを信じるのであれば各々の火山灰によってちょっと違うという
1:28:53	そんなところ。
1:28:55	かなというふうに今ちょっと聞いて思いました。そこら辺は
1:29:02	温水じゃないかもしれない、ないので
1:29:05	ちょっと聞きましたということで、
1:29:08	あともう一つ先ほどタニのほうから質問がちょっとあった。
1:29:16	102 ページですかね、100 ページから 102 ページの
1:29:21	鳥取県西武岡山県北西部鳥取県セーブという
1:29:27	この調査地点なんですけれども、ここもちょっと細かいようなんですけれども、先ほどのこれ多分 40 キロから 50kmの範囲に入っている地点ぐらいなので、
1:29:39	ちょっと改めて確認させていただきたいんですけれども、
1:29:43	ものたしかに論文では、これ 300 かどうかすらよくわかんないし、機能とも言ってないのでというところ
1:29:51	認識はしてはいるんですけど。
1:29:54	102 ページで
1:29:57	変わん段丘ま 100 ページで変わん段丘割ってそこで見たみたいなのを書いてあって、
1:30:04	102 ページで
1:30:07	この地形図の左側の方とかを見るとですね。
1:30:12	これも事実関係の確認だけなんですけれども、
1:30:16	102 ページのこの地図を見ると、
1:30:21	東佐々副神社って書いてあるところ。
1:30:25	2 項、
1:30:27	何とか大きな川から
1:30:29	こうし流みたいなのはずっと
1:30:32	上から指定とあって、
1:30:35	

1:30:37	と書いて歩く参画点がある。第 1 みたいなのところがあって、
1:30:43	そこの何というか、C流沿いというか、そこはずーっと何回かにも段丘みたいな崖みたいな、
1:30:51	地形の印が書いてあって、
1:30:54	183 号線の
1:30:57	に入っても、今、その①番で、
1:31:00	写真を撮っている
1:31:02	背中の方側ですね、ここもなんかちょっとそういった向こうも多分用としては吹きつけとか、整理てるんかもしれないですけども、
1:31:11	この辺り①番の写真甲
1:31:14	なんですかね、いかにも道路のり面みたいなところ。
1:31:19	写真を撮ってあるんですが、
1:31:21	大体この今申し上げたような
1:31:24	この間段丘的なところも見た上でやっぱり
1:31:28	どこも皆こういう状況なんで、この①の写真というのが載っていると。
1:31:34	いう状況なんでしょうかそれとも
1:31:37	なんかもまずはちょっとこう、
1:31:39	大きい道沿いを見て回った回ってこの辺りの写真を撮ったという、そういう状況なのかちょっと
1:31:47	その辺の状況だけ教えていただきたいんですが、
1:31:54	中国電力の今村です。
1:31:58	102 のページの現地確認についてなんですが、
1:32:03	実状申しますと、写真 1 で示した気付金から、
1:32:09	180
1:32:11	3 号線北に行くような道をずっとさんに行ったところの踏査を
1:32:17	実施しておりまして、今おっしゃられたような
1:32:21	神社付近のところは、道沿いに西流の増員ところは確認できていないのが実情です。
1:32:31	実際に踏査した範囲としましては 183.1 で写真を撮った 183 号線沿い
1:32:37	だから、
1:32:38	北上したところから歩きまして、
1:32:41	この②で示すようなちょうど付近を二股で分かれるようなところまでを踏査したのが実情であります。以上です。
1:32:55	わかりました。
1:32:57	そういう状況で今こういった

1:33:00	その範囲では露頭が見つからなかったという、そういった御説明だったということで
1:33:07	この資料の確認はできましてありがとうございます。
1:33:14	あ、すみません、改めてそれちょっと今の点で、例えば 101 ページとかですと、主な地表踏査ルートっていうのがこの赤い線でPと書いてあってあるんですけども。
1:33:29	この
1:33:30	102 ページのほうの
1:33:33	には、
1:33:35	それがないのでちょっと私も今それわからなかったので、
1:33:39	ほかのところは全部そういった表示、表示がされておりますので、ここも同じような表示をしていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
1:33:53	中国電力の今村です。
1:33:55	御指摘の
1:33:57	趣旨、理解いたしましたので、ほかの地点と同様に、こちらの、こちらに関しましても踏査ルート示すような図を作成して示してお示したいと思います。以上です。
1:34:11	カイダですが、よろしくお願いします。
1:34:32	規制庁ナイトウですけれども、確認なんだけれども、さっき言い等誰だっけな誰か確認したけれども、良いと仮想的に引いたフィッティングラインの中で、御社としては発電所等の
1:34:50	三瓶山との距離等、
1:34:53	の関係から 450kg付近のところの露頭についてきちんと精査をしてそれがフィッティングラインとの関係でどうなってるのかということで、敷地の層圧の妥当性を
1:35:10	説明するんだっていう、そういう方針だっていうことで、まずよろしいんですね。
1:35:18	中国電力シミズですはいその通りです。
1:35:21	はい、規制庁の阿部ですけど、だとすると今議論をしていった地点って大体 50 kmぐらいの地点なんだけど。
1:35:30	ほとんど踏査してないっていう状況で、御社の方針とちょっと合っていないような気がするんだけど、そこはどういうお考えなんですか。
1:35:42	愛知中国電力シミズです。先ほど今村が言いました通り、まずこの論文については図版ということで可能性がありまず三瓶山期限の可能性があるということで、まず記載されたレベルのものだということと、

1:35:58	ここに書かれて例えば 100 ページに書かれてます通り赤とか黄色とかオレンジみどりとかいうのがありますけども、やっぱりこのデータ見ると、それよりもえさ三瓶山に近い所データに比べるとですねかなり突出しているようなところでございますし、先ほど言いました通り、
1:36:18	サンビューの可能性があるということと言及しているだけの文献なので、我々としてはそこまで重要視していないという意味でここまでの調査でとどまっているということでございます。以上です。
1:37:25	はい、市長のナイトウですけれども、えっとね、
1:37:30	御社の方針に基づけばまあ 5050km前後の部分以外のところはね、具体的に指摘されてないのでっていう形の説明も、
1:37:42	ねうなずけなくはないんだけれども、御社の方針としての部分で、ここ 50 キロ。
1:37:49	を中心としたこの周辺の 3 弁の層圧がどうなのかというところが非重要であって、それに基づいてフィッティングラインが妥当かどうかということで、今の 55.5 で 56cm という設定が、
1:38:09	妥当なんですっていう説明を
1:38:12	しようとしている中で、3 弁の可能性はもうありますと言われているものについて、それもいいと 1m ぐらいでした結果、言われているのは、その部分についていやそれがあるのかないのかということについて、
1:38:28	節きちんと説明をしなくても、50kg 付近の層圧については十分な調査がされているというふうに説明をされると。
1:38:43	そういうつもりおられるという理解でいいんですか。
1:38:49	はい、中国電力の鹿島です。申し訳ありませんまた先ほどの、今これまでのスタンスあの先ほどのシミズも申しましたように、三面付近の特定できてないというところがあって、優先順位を落としておりましたけれども、今の
1:39:05	やりとり加えましてですね、こちらについても疑義が残る地点ということもありますので、早急に現地の方確認した上でですね、資料のほうにも反映させていただこうと思っております。以上です。
1:39:20	規制庁タニです。現地の方も見られるっていうことであればですね、それまとめていただきたいんですけども、これって、この図服で書かれてるのは本当にここのピンポイントのことを書かれているように、
1:39:37	討論とらえなければもうちょっと広い範囲でですね、先ほど言いましたけどなんか北側に
1:39:42	採石場みたいなのもあれば、口、路頭あるよっていう意味で言いますと、砕石場みたいなのもあればちょっと何か林道みたいな見つかります。或いはさっ

	き言いましたけど、バイパスの工事で法面が今あるのかわかりませんができてたりしますので、
1:39:59	それが今どういう状況になってるのかっていうぐらいは確認した上でですね。
1:40:04	現地周辺も見てくださってというような
1:40:09	このコメントです。
1:40:13	はい。中国電力鹿島です。承知いたしましたのこちらピンポイントで合ってなくてですね、その周り幅広にですね、ほとんどあるなし、現地の状況というのは、
1:40:22	確認するようにいたします。以上です。
1:40:43	規制庁タニです。ちょっとこれあと細かい話とかになりますけれども、ちょっと気資料見させていただいて、例えば 98 ページとかで、
1:40:53	ここの層圧は、
1:40:56	30cmぐらいなんだという説明されてますんでスケッチあの写真の上をTRACEとして地層区分してるんですけど、これでも見てみると、時のテフラってしてるの上には火山灰湿度っていう
1:41:14	地層がありますね。その上にも火山灰出動っていうのがありますね。で、
1:41:20	下には粘土質火山灰層っていうのがあって、この地層のなんていうんすかね純層としてはこの 30cmなんだっていう説明だと思うんですけど、これってそんなに明確に分けられるものなんです、或いはこれおんなじ
1:41:35	同じ数一連の火山灰だと考えたら、何か層厚としてもっと厚くなるんじゃないのかっていうのを気になって確認してるんですけど、そう、これははっきりと分かれるもので、その上の火山灰湿度っていうのはもう、火山灰じゃないよっていう
1:41:51	何かいえるものありますか。
1:42:11	90、中国電力の今村です。
1:42:14	98 の
1:42:16	支店の地質層序に関しましては、
1:42:19	火山灰数度のシュートすると冊数に関しては、明瞭なクロオカがありましてシュートする火山灰し数の中途失はF食堂との漸移的なもので、基質が非常にシルト質なもので、
1:42:34	下の火山灰数の察すると。
1:42:36	300 のテフラ、
1:42:38	と分けているかものに関しましては、
1:42:42	市長が
1:42:44	火山灰層に
1:42:45	普通に関してわかつ縮小褐色を呈し 300tの適用に関しては、
1:42:50	褐色を呈するような産状で、

1:42:53	釜できずたときにも 300 のテフラが
1:42:56	より削られやすいような特徴を示すもので明確にそう分けようことが可能な
1:43:03	視点でありました。以上です。
1:43:10	規制庁タニです。多分ですね、今の説明っていうのは、実際行かれてわかるようなことだと思うんですけど、これ多分、この層圧が 30 センチなのかどうなのかっていうのも大事な
1:43:24	話だと思しますので、その違いどういうふうに認定しているのか、或いはこの拡大ってせっかく左下左側左下の写真に拡大写真つけていただいているんですけども、これをぱっと見てですね。
1:43:39	上の歳出ってしてるのと機能でフローっていうのが、どこが境界なのかこうなんかぱっと見てもわからないんですよ。
1:43:48	なので、ちょっと説明したいことがあるのであればちゃんと資料に落としていただきたいと思えますけど。
1:43:55	よろしいでしょうか。
1:43:59	中国電力の今村です。
1:44:03	質問の趣旨を理解いたしましたので、より
1:44:07	層の
1:44:08	そのほか量な
1:44:10	適正化資料の適正化を図りたいと思えます。以上です。
1:44:16	そう願います。
1:44:28	規制庁ナイトウですけども、今の点なんですけども、
1:44:33	えっとね、今、1、
1:44:38	一般論としては向きのは、1 回としていって、今 1 回を前提としての評価の層圧になっていて、
1:44:48	いますよね、御社もうでも 2020 では二つ、2 回の噴火に分けられるということも言っているという状況の中で等、
1:45:03	うちのテフラのところは、
1:45:06	どこからどこまでを考えれば浮きのテフラのカットっていうのはちゃんと観察した事実と、もう照合してきちんと説明してもらいたいんですよ。これ、この周辺の林三浦でいうと角れきが
1:45:23	て隔離機能上のほうにいいかちょっと乗ってその上に受けるのがあって多角的になってますと言って、
1:45:30	この露頭を見ると、上は腐食度があるので、上が状況違うんだけど、じゃあこの年粘土質火災火山灰層、
1:45:42	何ももうこの下ってどうなってるの。

1:45:45	で、
1:45:47	柱状図と現場を対比すると。
1:45:51	当然の疑問として浮かぶわけですよ。
1:45:55	その辺を御社としてどう評価してるのかっていうのはきちんとわかるような記載をしてもらいたいんですけど。
1:46:07	中国電力の今村です。
1:46:10	質問の趣旨、理解いたしました。
1:46:12	既往の廃止ミウラ1柱の地質柱状図とは異なる層状示す。
1:46:18	露頭でありますので、その差異がわかることと、
1:46:24	この300のテフラ、
1:46:25	ろうあやっぱなどの性状や、他の304という回答。
1:46:32	上位の地層との区分の悪化出す同士でやって300を
1:46:38	と認定したかななどの資料の
1:46:42	充実化を資料的自立化を図りたいと思います。以上です。
1:46:49	はい、よろしくお願いします。
1:46:56	理由等文書はきつとね。私ちょっと別件で確認したんだけど御社は高圧の評価については、基本、この現地調査に基づいた実装圧を
1:47:12	開店す発電所に回転させて当てはめて保守的な評価をやりますっていうのを主にするっていうことでいいですよ。
1:47:27	中国電力シミズです。その辺りの本編資料の103ページに記載しております。
1:47:38	いや、書いてあるんですけどソニーさんでいいんですよっていうストーリー確認なんですけど。はい、じゃ若干確保どくさせていただきますと、まず他のサイト同様ですねシミュレーションによる検討これ敷地方向への仮想府の検討が主だと思っております。
1:47:55	今回こういった今回新しくマルヤマ2020というのが出た関係もありまして、これを踏まえてですね、先ほどナイトウさんおっしゃられた敷地方向に評価をするという検討実績イソダTF
1:48:12	踏まえた検討するというのがですね、我々の考え方でございます。以上です。
1:48:17	はい、ナイトウですではあんまり
1:48:21	影響はないのかもしれないけど、
1:48:23	名層厚の噴出量4.15の妥当性確認で108ページなんかを見てみると、108ページでもいいし、今100、108ページでいいか108ページで
1:48:40	総厚をに基づいてここを引きましたところ逃走圧線図を新たに引きますたつとしてるけど、
1:48:50	こんな闘争制圧が価格と。

1:48:54	曲がったりとかですね、主軸の方向がぶりオーナー等、
1:49:00	そう線図で、
1:49:03	これって普通こういう書き方するんですか。
1:49:17	はい中国電力の田中です。
1:49:19	いろんな文献ありますけれども、例えば、
1:49:23	規制庁さんの委託研究出されている山後藤さんのですね。例えば大線のアイソパックでもこういった形のあるのはあるんですけども、あくまでここでは噴出量の妥当性を確認するということで、根拠としては
1:49:39	ねえ。まあ矛盾のないように囲ってみて、ボリュームは大体どれぐらいになるかっていう、あくまでボリュームの妥当性を確認する上でのアイソパックの補完というふうに考えております。以上です。
1:50:53	あとはこの部分の記載の中で、刀禰さんへのLの分布に着目して噴出量を算出したと言ってただけど。
1:51:03	なんでここえるだけに区切るんですか。
1:51:07	やっていると、UpperとLowerに分けられるとしているけれども、
1:51:13	UpperとLowerに分けて層厚を設定。
1:51:17	できて分別できてるところってほとんどないんで。
1:51:22	わけですよ。
1:51:24	それをろうあに着目した形でもって入っていくとしているのはどういうお考えなんですか。
1:51:38	はい、中国電力の田中です。
1:51:42	おっしゃる通りの層圧についてはろうあ等／調査結果とかの文献でも
1:51:48	ほとんど分けられてないという状況の中で今回整理をさせていただいております、
1:51:53	あくまで当社の考え方としましては、SE系、Lの方が厚く堆積するとUpperのほうにつきましては広域的には分布してますけども、非常に薄いというふうな解釈なされておりますので、
1:52:08	Lowerの部分、分布域に着目しても噴出量を出すというような考えて整理をさせていただいております。以上です。
1:52:28	中国電力として必要したいことは、今説明聞いてわかった。
1:52:33	はっきりと思う。
1:52:35	でも、もとの噴出量の4.0ってアッパーろうあ分けてるわけじゃないんですよ。
1:52:43	それはやっぱろうあ分けているわけではないふうな数量の妥当性を分けて検証しますという

1:52:51	それで何が検証できているのかってのが今ひとつよく
1:52:55	ピンとこないんですけれども、そこをどうよう考えなんですか。
1:54:05	はい中国電力シミズです。100 補足資料のですね 100 ん。
1:54:11	5 ページ作業といいます 108 ページの前のあたりのところに当時から御説明してきていた 4km立米飲む妥当性の説明をしております。で、107 ページ見ていただければと思いますけど。
1:54:26	町田さんもですね 50cmのコンターとかその 0cmのコンター線というのは当時 1999 年の間合いから 2011 年若干変えております。
1:54:42	今最新のものは見この 107 ページの右に書いてあります通り、0cmコンターというのがあまりなんていうんですかね幅広がってないようなあ、すみません、ちょっと長いところまで書いてないような絵に書いております。
1:54:58	これをもって今Atlas4 キロ立米というふうに言われておりますので今回の 108 ページのほうの記載、書いておりますけども、一応そこはですね 0cmコンターを通ると踏襲するような格好で若干北のほうの魂胆ところ入っておりますけど 0cmコンターにつきましては、
1:55:16	こういった格好で踏襲というかそれを反映したような形で 4km立米というのを期待今回確認しておりますので、若干内分散さつきおっしゃられたように 1 形は密なところがございますけど、この結果をもって 4kmというのは、
1:55:32	我々としては説明できるんじゃないかなと。一つの可能性としてですね、こういったことを 4km立米の妥当性ということで書か責任説明できるんじゃないかなというふうに考えております。
1:55:44	以上です。
1:55:47	きちっと規制庁ナイトウですけれども、その辺の考え方をねきちんと入って欲しいんですよ。だから、これ 4 キロ立米といってるときには多分新居町の踏み込むの 1992 のような概念の中での考え方で出している。
1:56:03	ですよ。おそらく恐らくは時代的にも、
1:56:08	それ以降出てきたやつていない。
1:56:13	噴出量がやっぱり開発とかもありますけれどもそれは余りにも大きすぎますよねって説明をされているわけであって、
1:56:20	Bというじゃあ噴出量ってをあと公に言われているのはあるんですかって言ったらないってことでいいんですよ。そうするとを公式に言われてるやつの中で何を採用するかというと 4kmがメインになるんですっていう資本室長御社されたい。
1:56:36	だと思っただけど、その中で検討するにあたって、どういう考え方でやってるのかっていうところをしっかりと言わないと。

1:56:46	いや新しい良い地点を見つけてきている中で、どういう考え方でやったのかっていうところを言ってもらわないと。
1:56:57	なかなか
1:57:00	何かやっていることと4キロのやつと、新たに見つけてきている増えているA層厚の手間やつと、
1:57:09	それと、その中で計算上こういう形でやりましたっていうのも違いが、
1:57:16	ある中でどういう考えでやったのかってのはしっかり書き込んで終わらないと。
1:57:21	どういう論理構成で何をやってるのかっていうのがあんまり
1:57:27	おやとしちゃうんですけども、そこはよろしいですか。
1:57:33	はい中国電力シミズです。
1:57:37	今の理解しましたので、また資料を反映したいと思います。
1:59:00	規制庁サグチですけども、ちょっと時間、
1:59:03	予定してた時間過ぎてしまったんですが、ちょっと全体通して大きなところ幾つか確認させてくださいとまずい。
1:59:14	本編のほうですね、45ページなんですけど。
1:59:19	これ多分コメント対応という形。
1:59:21	思うんですけど。
1:59:23	今書かれている敷地では降下火砕物は確認されていないとありますけれども、これボーリングやった結果が確認されてないって、
1:59:33	今おっしゃってると思いますけど、この辺のエビデンスってどっかにありますか、それからどこどこを確認したら、
1:59:40	ないということがわかりますか。
1:59:46	愛知中国電力シミズです。本数の本数なんですけど、これまでボーリングにつきましては地盤の安定解析それから敷地のチームの括弧にすべて表層からですね、新聞にもかかって全部お出ししております。ただ、
2:00:04	先ほど言いましたように主要なところだということで全部の者あのボーリングには出しておりませんが同じものをつけるということは可能ですけどあまり効率的でもないのかなと思って我々としてはそこで御確認させていただいているという認識でございます。以上です。
2:00:22	はい。規制庁サグチです。例えば
2:00:25	何回の会合で出したボーリング柱状図とか、
2:00:29	何かそういうのをそういうのはわかりますよとあってあるわかるんですけど、今これ文字だけなので、
2:00:37	少なくともあのエビデンスは
2:00:40	形だと思いますし、それから、今ここで言われている降下火砕物って、

2:00:45	何かある程度こう限定されてないです。
2:00:49	ひょっとして、
2:00:50	例えば、これって第4紀の火山に関してはとか、そういう感じじゃないですけども、もうちょっと何か古いのだったら何かあるんじゃないかなかったですっけ御社の
2:01:02	ちょっと確認させて
2:01:24	中国電力の鹿島です。今厳密にの敷地内産機の堆積岩ですので、凝灰岩といった岩石化したもともとが火山灰起源のものがございましてけれども、その上位はすべて4系でほとんどの話を45ページにも書いておりません崖錐堆積物、
2:01:41	ほとんど保存されるような地形ではないので、そういったものが分布してないのだと思っております。以上です。
2:01:49	はい。サグチです。少なくとも4機っていうか4系の火山に関してはどういうことかなと思って今確認させて、
2:02:01	でいただいたんですけど、これは第三期のところにもないでよろしいですか。
2:02:06	先ほどちょっと一応あるようなこと言われてましたけど、
2:02:11	また、単純に4、中国電力シミズです。さっきちょっとこっちで言いかけたのはですね、業界がみたいなものを含むじゃないかという、そんなイメージのことを言っておりました。なのでそもそもこの原子力発電所の火山影響評価ということで4基という頭はもう我々の中に、
2:02:30	起こり方もってありましたのでまあ、あのサグチさんのコメントわかりますのでそこをですね、言葉として追加させていただければと思います。誤解がないようにさせていただければと思います以上です。
2:02:43	はいサグチです。わかりました。
2:02:45	当然数火山も対象は4なのでっていうのは当然わかるんですけど、引き継ぎは本当にあるのかなのかっていうところなのでちょっとそこは追記通していただきたいと。
2:02:57	いうのと、次に49ページ、50ページで、
2:03:00	この関係というのか、10-これ流れなんですけど、まず文献調査をしました。
2:03:07	あと調査もやりましたっていうんですけどこれって、特に50ページであの会合でも多分コメントをしたようなことになると思うんですけど、あくまでもこれはSCALEの調査であって、その他で。
2:03:23	じゃあ、本当に確認。
2:03:25	されていないのかどうかっていうのが今この資料でどこを見たらわかりますかっていうのと、49ページなんていうか、そうなんですけどこれはあくまでも文献調査なんですけど、例えば、今回のマルヤマへ通るなんていうのはどんな位置付けになってるんですか。

2:03:45	いうのと、50 ページの調査に関しては、
2:03:49	あくまでもこれは半径 30km範囲に
2:03:53	飲みないだけで、そのほかはあるのかどうかということですよね。当然今回、
2:04:00	調査をして特に三瓶山のが近くでやったら、
2:04:07	調査した方がいっぱい出てきてるんですよ実際に
2:04:10	で、そういうものは一切入ってなくて、これは単純に調査がされてないから。
2:04:16	確認されていないのか、調査をしたんだけど、
2:04:22	30km以内に本当にはないんですということが多分示し切れていないんですけど、ちょっとそこはどうなのかというのか確認させてください。
2:04:37	はい。当中国電力の田中です。50 ページをお願いいたします。
2:04:42	まずこちらにはですね 3 秒付近のテフラ失礼しましたさAと 300 聞いて裏のほうの記載は調査結果を示しておりますけども、上の箱書きの文章中にございます通り、なお敷地周辺において三瓶山期限のその他の火山灰層は確認されていないというふうな
2:05:00	整理をしております、ここを三瓶山の章ということで整理させていただいておりますから、
2:05:06	江藤さんの気づき以外の火山灰層がないということはここ明記させていただいているという状況でございます。
2:05:13	それと調査範囲のお話がございますのでそれについても補足させていただきますと、こちらも上の箱書きに記載しております通り、基本的には敷地を中心とする半径約 30kmの範囲で確認されているものを示しているというものでございまして、
2:05:30	実際にはこの三瓶山の近くの方にも幾つかプロットしている結果があるかと思っておりますけども、こういったところでもですね、代表的な地点で現状確認しているという状況でございます。以上です。
2:05:45	はい、サグチです。あくまでもここは、三瓶山全体についてのはずなんですけど、プロットされているのSKだけですよねっていうそういう確認なんです。
2:05:55	今回南米の大きいものも調査もして、当然今示されている範囲であれば、プロットされるものが幾つか出てくると思うんですけど、それらも踏まえた上で、
2:06:08	半径敷地を中心とする半径 30km以内。
2:06:12	ていうのはSK以外にはありませんよっていうんだったら、南保学校わかるんですけど、今の
2:06:18	この絵を見ると、どっから。
2:06:21	本当に文章が出てくるのかなっていうのがちょっと確認できなかったと。

2:06:26	そういう確認です。
2:06:29	あとすみません先ほどの 49 ページの文献調査のマルヤマとかの位置付けっ ていうのとどうなるんですか、あくまでもこれは、三瓶山全体についての降下 火砕物
2:06:41	の分布に関する調査のはずなんですけど。
2:06:44	何か順番的に後のほうにしかマルヤマ通るってとこなくて、
2:06:50	そういう何というんですかね。資料全部の構成全体を通した公文書の流れ、
2:06:57	そういうところの位置付けみたいなのところをちょっと教えてください。
2:07:06	はい、中国電力の田中です。まず先ほど最初のご質問の 50 ページのこうなん ですけれども、ご指摘の通り、髄核の範囲内におきましても、3000 付近のテフ ラの調査結果先ほど示した通りですね。
2:07:22	確認されている地点もございますので、その辺につきましては言うところの記載のほ うはですね、明確にさせていただきたいと考えております。
2:07:32	2 点目の御質問の方のまず 49 ページにつきましては、こちらの三瓶山期限の ものの火山灰分布域ということでお示しをしたものでございまして、個別のTep hraのえと分布の細かい状況につきましては、
2:07:48	コーダのほうでお示している。すなわち今丸山の文献等につきましては、後 段のほうで論じさせていただいているというものでございます。以上です。
2:08:03	規制庁サグチです。ちょっと私の聞き方があまりよくなかったんじゃないんです けど、49 ページで、なぜこの町田払いのみをオダ出されているのかというところ を確認をさせていただきたかったという。
2:08:18	もちろんそういう
2:08:20	今田中さん御説明いただいたように、もっと詳細は後段で説明するという流れ であれば、それはそれで思いませんけれども、一応確認だけはさせていただ きました。
2:08:38	あと、
2:08:40	ちょっとこれは先ほど
2:08:43	補足のほうです、いくつか 3 名機能のTephraとそれからそうじゃないところ のその境界ってどうやって判断したものとかそういう確認をいくつかしたと思 うんですけど。
2:08:58	ちょっとこれも同じような
2:09:01	感じすみませんこれ単なる素人でわからないだけかもしれないんですけど。
2:09:06	今回文献の
2:09:10	示されている地点に対応するようなところ。
2:09:14	それから全く新たに今御社が見つけた。

2:09:18	補足の 54 ページとかっていうこと地点 1 ですよ。
2:09:24	1.1 っていうのは御社が新たに
2:09:26	発見したところっていうまず理解でよろしいです。
2:09:36	中国電力の今村です。現地調査の地点 1 に関しましては、付近に既往の文献とは報告されていないため、自社調査で判明した露頭になります。以上です。
2:09:50	はい、規制庁のサグチですありがとうございましたわかりましたので。そうするとですね。で、80 ページ、先ほどちょっと確認をした部分もあるんですけど、そうすると、
2:10:02	今ここでの 3 弁を昨日のテフラって認定されている。
2:10:08	何て言いますかね、根拠じゃないんですけど。
2:10:12	三瓶付近のテフラっていうのはもうそもそもこういうもんなんですよ。だからこの地点でここはこれこの部分が 3 秒機能持ってくるわけですよという判定した。
2:10:22	というか判断した根拠みたいなのっていうのはどこを見たらわかります。
2:10:27	ちょっとこれすみません、素人的なことなんですけども教えてください。
2:10:35	中国電力の今村です。
2:10:38	300 機能的ウランの性状に関して、紹介した資料が、
2:10:44	入っており、
2:10:46	入っておりませんで、阿蘇層状なので、
2:10:50	例えば、
2:11:02	例えば本資料の 65 ページ。
2:11:07	なんですが、
2:11:13	常に福岡松井 2002 がまとめた。
2:11:16	統計的に松井の H971 服部ほか 1983 林三浦 1987。
2:11:23	松岡福岡松井 2002 で、
2:11:26	それぞれの文献でまとめられた 3 弁起源の火山灰の
2:11:31	噴火履歴をまとめた資料なんですけど、こういった資料は、
2:11:35	入れておりますが 300 基の性状自体について紹介した資料が資料化されておりました。
2:11:42	こちらに、
2:11:43	ついてはし、改めて資料化をさせていただきたいと思いますが、現地確認をする上で、三瓶山、
2:11:51	付近にあるさ姫る資料館窓や
2:11:54	鷹野町にある高のインターにある。

2:11:58	日はぎとり標高などが展示されておりまして、その資料確認いたしますと、黒僕の直下に仮
2:12:06	褐色を呈するサンビュー金のテフラと、
2:12:11	火山灰が
2:12:12	ありまして、さらに下位にこの土壌
2:12:16	et含むようなこと上さらにさらに下位に。
2:12:21	3 べ。
2:12:23	池田軽石
2:12:25	がありましてさらに下位に。
2:12:28	この上そのさらに下に 3 べんなん軽石を示すようなはぎ取り標本が展示されておりまして、
2:12:36	そういったものを確認しながら調査を行ってございました、そういった
2:12:41	ものを
2:12:42	資料化したいと思います。以上です。
2:12:46	はいサグチで
2:12:49	そこはよろしく申し上げます。どういう形で判断されたのかって言うのは先ほど例えば、98 ページでもあったようにこの 80 ページでも下は粘土質の火山層が火山灰層とかってあるんですけど。
2:13:05	もう協会は、名てみて確かにこの辺かなっていうのわかるかもしれないんですけど、じゃあ、なぜこの下の粘土質火山灰層が 33 秒付近のと全く関係ないものなのかどうかっていう、そういうところも含めてですね、ちゃんとこの判定した根拠みたいなものも、
2:13:23	きちんとつけていただきたいと思いますのでよろしくお願い。
2:13:28	私からは以上です。
2:14:11	はい、規制庁ナイトウですけども。
2:14:14	えっとね、この現地調査というか、
2:14:18	露頭調査結果のところについては、今、サグチからも、
2:14:22	コメント出てるけれども、他にもみんな言ってるんですけども、3 名昨日テフラがこの範囲だけでいいんですって、なんで状面も苦労とかあるのもわかりやすいんですけど。
2:14:35	火山灰質砂層とかね、下に粘土質
2:14:39	火山灰層がありますというところで、何でここで 3 部じゃないとして境界線を引けるんですか。
2:14:47	どうぞ。
2:14:48	いうところはしっかりと御社の考え方は、

2:14:52	入れてください。
2:14:54	はい。一部のやつについてはその下に年率火山灰層があってその下にも別の火山灰層があったりとかしているという形でもって柱状図、
2:15:05	文献で言われている中実退避できるやつはまだわかるんだけど、文献で言われている柱状図と対比できないような状況の地質の中でなんでこの範囲でいいんですかっていうのは、御社として判断してるわけだから、
2:15:20	そこはしっかりと境界をここで 300 強化をここで引けるんですっていうのは説明できるようにしていただきたいと思います。よろしいですか。
2:15:32	はい中国電力シミズです。皆さんからいただく買ったコメントを資料化したいと思います。以上です。
2:15:50	規制庁ナイトウですけど、考え方をよく整理してくださいという話もあるし、ちゃんと判断根拠をきちんと示してくださいという話も結構ありますので、そこまず記載していただいた上でもう一度ヒアリングで確認させていただきたいと思いますけれどもよろしいですか。
2:16:08	はい、中国電力シミズです。先ほどありました増幅のですね調査、追加のか、現地確認ですね、それが多分クリティカルになると思いますのでその間に、このところの
2:16:22	論理構成それから資料化を図っていきたいと思います以上です。
2:16:52	はい、規制庁クマガエです。
2:16:54	それではまだそういった調査とかですねその考え方をまとめていただいたらですね。またご連絡いただければと思います。
2:17:02	あと、ほかに何か確認したい点等ありましたらお願いします。
2:17:09	はい中国電力シミズです。特にこちらからございません。以上です。
2:17:15	それでは、島根原子力発電所火山影響評価についてのヒアリング終わりたいと思います。ありがとうございました。